



令和4年9月8日
東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） トライアウト 令和4年度募集における新規採択課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）トライアウトの令和4年度募集における新規採択課題として、160件を決定しました（別紙1）。

A-STEPトライアウトは、大学等の研究成果に基づいた技術の実現可能性を検証する公募型の研究開発費支援制度（研究費支援）と、マッチングプランナーによる産と学のマッチングや事業化に向けての研究開発活動の支援（人的支援）により、本格的な産学共同研究開発へとつなぐプログラムです。

募集期間は、令和4年3月29日（火）から5月19日（木）までとし、684件の応募がありました。

募集締め切り後、外部専門家による評価会議にて、技術シーズの新規性・優位性、イノベーションインパクト、研究開発の目標・計画の妥当性などの観点から審査し、採択課題を決定しました。

今後、契約などの条件が整い次第、研究開発を開始する予定です。

<添付資料>

別紙1：A-STEP トライアウト 令和4年度募集 採択課題一覧

参考1：A-STEP プログラム概要

参考2：A-STEP トライアウト 令和4年度募集 採択課題の参考データ

参考3：A-STEP トライアウト 評価・推進会議委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 産学連携展開部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

佐藤 喜一（サトウ ヨシカズ）

Tel：03-6272-4732

E-mail：[mp\[at\]jst.go.jp](mailto:mp@jst.go.jp)

A-STEP トライアウト 令和4年度募集 採択課題一覧

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
1	チタン製品への高耐久性抗菌・抗ウイルス皮膜簡便形成技術の開発	北見工業大学	大津 直史
2	男性更年期対策食品原料の開発手法の構築	北海道大学	加藤 英介
3	デジタル蒸着重合による共有結合性有機構造体（COF）気体分離膜の合成と実装	北海道大学	島田 敏宏
4	汎用合金のアノード酸化による高活性・高耐久水電解電極の開発	北海道大学	幅崎 浩樹
5	超音波の援用による噴霧制御で実現する工程を簡略化した新規塗装機器の開発	室蘭工業大学	廣田 光智
6	珪藻土が持つコケ植物の成長促進作用を活用した各種緑化技術の開発	八戸工業大学	鮎川 恵理
7	オゾンと海藻バイオフィルターを組み合わせた低コスト・赤潮フリー閉鎖循環式陸上養殖システムの開発	一関工業高等専門学校	渡邊 崇
8	個々人の歯列形状に最適なブラッシング手技の導出とその訓練システム開発	岩手大学	佐々木 誠
9	循環型社会形成に向けたプラズマ由来活性酸素導入によるメタン発酵残渣処理技術の開発	岩手大学	高橋 克幸
10	トップヒート型多孔質体内沸騰現象による超高熱流束ペーパーチャンバの開発	東北大学	岡島 淳之介
11	タンパク質検出用簡易迅速IoTセンサの開発	東北大学	藪上 信
12	気孔レスガスアトマイズ装置開発のためのガス排出機構の解明とシミュレーションモデル構築	宮城県産業技術総合センター	吉川 穰
13	微量血液からのcfDNAの質的差異に基づく、次世代シーケンスを用いた新規健康管理パラメータの探索	秋田大学	明石 英雄
14	交番磁気力顕微鏡を用いた電磁波シールド材・電波吸収体の電磁場イメージング法の開発	秋田大学	齊藤 準
15	哺乳類胚凍結保存による生殖工学プラットフォームの構築	秋田大学	関 信輔
16	安全な最重元素ビスマスを用いる多機能高屈折材料の開発	山形大学	落合 文吾
17	希少金属を使わない高移動度酸化チタン薄膜トランジスタの開発	山形大学	廣瀬 文彦
18	透明潜熱蓄熱フィルム	山形大学	松井 淳
19	食用油脂中のクロロプロパノール類及び関連物質の抑制技術の確立	福島大学	吉永 和明
20	地方三セク鉄道向けDBM（data-based maintenance）保線支援装置の開発	茨城大学	尾鷲 裕隆

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
21	さまざまな魚病の防除に適用可能な「水産用ワクチン植物」創出基盤技術の開発	茨城大学	中平 洋一
22	有機合成化学に立脚した大型タイヤ用シランカップリング剤の開発	産業技術総合研究所	中島 裕美子
23	マルチウェルプレートを用いた細胞内一重項酸素消去能評価技術の開発	産業技術総合研究所	室富 和俊
24	紫外発光有機ELの実用化に向けた電子輸送材料の開発	筑波大学	桑原 純平
25	スマートコンタクトレンズを製造するためのコンタクトレンズ内への光源埋め込み技術の開発	筑波大学	森川 翔平
26	軽量・小型なAh級リチウム空気電池の開発	物質・材料研究機構	野村 晃敬
27	金属ナノ粒子複合体の農業応用を目指した安全性・残効性評価と有用性確認	物質・材料研究機構	山本 玲子
28	日本産イチゴの高品質世界展開を可能にする果実非接触包装技術の開発	宇都宮大学	柏崎 勝
29	組換え体タンパク質の発現に適したカイコの品種の探索	群馬大学	武田 茂樹
30	組織内脂肪滴のライブイメージングのための赤色および近赤外蛍光性脂肪滴試薬の開発	群馬大学	吉原 利忠
31	亜鉛空気二次電池用高耐久電解質膜の開発	量子科学技術研究開発機構	廣木 章博
32	非侵襲型師管転流計測技術の開発	量子科学技術研究開発機構	三好 悠太
33	大断面函体推進における摩擦低減材の性能強化	埼玉大学	富樫 陽太
34	パルスUVレーザーによる金型合わせ面樹脂バリの高速・大面積・クリーン剥離方法の開発	千葉大学	伊東 翔
35	磁性流体トナー技術によるプリンテッド集積回路作製技術の開発	千葉大学	酒井 正俊
36	ドコサヘキサエン酸含有ホスファチジン酸の脳機能改善食品としての可能性検討	千葉大学	坂根 郁夫
37	あらゆる機能性材料の空準位の迅速解析が可能な高感度低エネルギー逆光電子分光装置	千葉大学	吉田 弘幸
38	違法薬物の呈色による迅速・簡便なデバイスの開発	東京理科大学	中村 佳代
39	オルガノシリカ海水淡水化膜の実用化に向けた高性能化とファウリング洗浄回復性の検証	東京理科大学	山本 一樹
40	実用デュアルコム光源による光コムガス分析計の開発	東邦大学	中嶋 善晶

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
41	嫌気消化効率化とバイオガス改質を目指した微生物利用技術の開発	工学院大学	藤井 克彦
42	高齢者向け感情・認知推定手法の介護用ケアロボットへの適用	芝浦工業大学	菅谷 みどり
43	超音波プローブ走査による3次元関節可視化技術	電気通信大学	小泉 憲裕
44	高強度レーザー用オゾン空間位相変調器の開発	電気通信大学	道根 百合奈
45	屋外作業員の熱中症リスクを検知可能なウェアラブル深部体温センサ	東京大学	松久 直司
46	次世代社会の健康確保のための胎盤細胞培養デバイスの開発	東京医科歯科大学	梶 弘和
47	灌流可能な人工血管網を有する多検体評価システムの構築	東京医科歯科大学	堀 武志
48	パーソナル健康管理ツールのための新規バイオセンサシステムの開発	東京海洋大学	大貫 等
49	ハンブとホローの判別に基づく燃料消費節減技術に関する研究開発	東京海洋大学	木船 弘康
50	食品中機能性成分の相乗効果を高感度に検出する生体中蓄積脂肪燃焼作用評価システムの構築	東京海洋大学	田中 誠也
51	粘土鉱物を用いた二酸化炭素固体吸収剤の開発	東京学芸大学	佐藤 公法
52	ウェーブレット解析に基づく牛の授精適期・分娩時期高精度予測システムの開発	東京都市大学	大屋 英稔
53	薬理成分の分子特性によらず高効率な製剤化を実現するバイオ医薬内包リボソーム製造技術の開発	東京都市大学	黒岩 崇
54	マイクロ波励起プラズマ処理によるシリコン窒化膜中水素濃度分布制御と電圧駆動型固体素子ニューロンの開発	東京都市大学	三谷 祐一郎
55	ミニ染色体測定系による新規異数性検出法の開発	東京都立大学	阿部 拓也
56	環境配慮型ピーニング技術開発による鋼表面の耐久性向上	東京都立大学	井尻 政孝
57	マグネシウム合金による軽量歩行器の実用化技術の開発	東京都立産業技術研究センター	西川 康博
58	電カインフラ機器の劣化予兆診断を実現するメタサーフェス活用ガスセンシングに関する研究	東京農工大学	池沢 聡
59	波長分離メタレンズによる長波長赤外線カラーカメラ	東京農工大学	岩見 健太郎
60	耐酸性微細藻類を用いたバイオ医薬品生産及び経口投与プラットフォームの構築に向けた基盤技術の確立	東京農工大学	大松 勉

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
61	生体高分子の高効率な経皮投与を実現するための超音波重畳照射システムの構築	東京農工大学	倉科 佑太
62	デメチル化柑橘ポリフェノールによる骨疾患の予防サプリメントの開発	東京農工大学	平田 美智子
63	難加工材料に均一なナノ周期構造体を効率よく作製できる技術の確立	東京農工大学	宮地 悟代
64	最高強度のCFRPを3Dプリントできるレイヤーワイズコンパクション方式3Dプリンタの開発	日本大学	上田 政人
65	既存モータを活用しフォールトトレラント機能を強化したデジタル高効率直接駆動マルチコイルモータの開発	法政大学	安田 彰
66	粉体ダンパを用いたモーター騒音の低減技術に関する研究	早稲田大学	竹澤 晃弘
67	高周波誘導加熱と微粒子ピーニングを利用した環境親和型固体浸炭プロセスの開発	慶應義塾大学	小茂鳥 潤
68	熔融炭酸塩形ダイレクトカーボン燃料電池の開発	電力中央研究所	河瀬 誠
69	複数台のLDVを用いた非接触音響探査法の移動計測に関する研究	桐蔭横浜大学	杉本 恒美
70	超音波導入法を活用した <i>in vivo</i> ゲノム編集動物作製法の開発	東海大学	大塚 正人
71	5G/B5Gビームステアリング無線アクセスに適した電波吸収体の開発	東京工業大学	イ サンヨプ
72	簡易食物アレルギー検出センサーのプロトタイプ開発	東京工業大学	當麻 真奈
73	人工代謝経路を利用したオーアセチルホモセリン微生物発酵生産の高効率化	東京工業大学	平沢 敬
74	簡便な溶液プロセスによる抗菌性と抗ウイルス性を併せ持つ繊維強化プラスチックの開発	明治大学	相澤 守
75	湿式精錬と低温熔融塩電析を中核とする希土類回収技術の開発	横浜国立大学	松宮 正彦
76	きのこ菌床を利用した気候変動・食料増産に対応するバイオスティミュラントの開発	新潟大学	伊藤 紀美子
77	環境調和型の米作りー酒造りモデルの実現	新潟大学	宮本 託志
78	地域由来微生物資源を活用した醸造用酵母の開発とその実用化	新潟食料農業大学	栗林 喬
79	定盤トルクのリアルタイム計測を核としたSmart両面研磨機の開発	金沢大学	橋本 洋平
80	PGM水溶化技術を応用した王水フリー／低炭素型リサイクルプロセスの開発	福井大学	岡田 敬志

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
81	テラヘルツ分光を利用した廃プラ再生材品質管理技術の開発	福井大学	谷 正彦
82	新規圧電単結晶 (Ca ₃ TaGa ₃ Si ₂ O ₁₄) を用いた高温環境用 SAW センサの開発	山梨大学	垣尾 省司
83	熟練操作技能の効率的な習得を可能とするクレーン操作トレーニングシミュレータの開発	山梨大学	野田 善之
84	胃粘液浸透を介する新規作用機序によるピロリ菌除菌剤の実用化に向けた基盤技術の構築	信州大学	川久保 雅友
85	新規機能米から調製した米麴の評価とそれを用いた発酵食品の開発	信州大学	藤田 智之
86	犬用経口生ワクチンの開発に向けた新規狂犬病ウイルス弱毒株の創出	岐阜大学	伊藤 直人
87	海からやってくる人獣共通感染ウイルスのヒトへの侵入に備えた現場で目視判定可能な携帯型の抗体検査キットの製品化	岐阜大学	猪島 康雄
88	微粒子ポリマー表面改質のための粒子気相分散式プラズマリアクターの開発	岐阜大学	小林 信介
89	機械学習とマルチスケール構造評価技術を活用したビール麦芽加工残渣の資源化	岐阜大学	高井 千加
90	Beyond 5G 超高速・高耐熱変調器を実現する超分極エレクトロオプティック材料の開発	岐阜大学	船曳 一正
91	有機ホウ素化合物の自在・多様性指向連続合成法の開発研究	岐阜薬科大学	山口 英士
92	高トルク重量密度を実現する電動航空機用リムドライブモータの開発	静岡大学	青山 真大
93	膝島・膝β細胞を標的とするナノカプセル技術の開発	静岡県立大学	金沢 貴憲
94	シリコン製巻き付け式の弾性着衣着用補助具の開発	浜松医科大学	佐野 真規
95	装着型センサを用いたドライバ心身状態モニタリングシステムの開発	豊橋技術科学大学	秋月 拓磨
96	5Gミリ波(28GHz帯)対応Cu層/ガラス基板のPdフリー化学的製造技術の開発	豊橋技術科学大学	伊崎 昌伸
97	2足歩行ロボットの安定的歩行システムの開発	豊橋技術科学大学	垣内 洋平
98	革新的で安価な木材等級非破壊高速測定装置の開発	名古屋大学	稲垣 哲也
99	高速移動式パルスECCTによる船体の減肉マッピングデバイスの開発	鳥羽商船高等専門学校	吉岡 宰次郎
100	セルロースナノファイバーの添加による低品位粘土原料への可塑性付与技術の開発	三重県工業研究所	新島 聖治

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
101	真空内稼働センサデバイスの基盤技術整備とマルチモーダル化	滋賀県立大学	酒井 道
102	空気中のウイルス検出システムの開発	長浜バイオ大学	長谷川 慎
103	ゲノム編集ハムスター作製技術基盤の確立と受託サービスへの展開	京都大学	椛嶋 克哉
104	脆さを指標とする木材用塗膜の包括的評価法の開発	京都大学	寺本 好邦
105	ドメイン抗体の高密度配向固定による精密アフィニティ分離膜の開発	京都工芸繊維大学	熊田 陽一
106	組換え大腸菌による次世代型低分子抗体の高濃度菌体外生産技術の開発	京都工芸繊維大学	堀内 淳一
107	RT/ARが切り開く医薬品調製デジタルトランスフォーメーション	京都薬科大学	木村 寛之
108	音声信号に最適なマルチスポット再生スピーカシステムの開発	情報通信研究機構	岡本 拓磨
109	生物の乱雑ナノ構造に基づく「明るく広い」透過光拡散シートの実用化技術	大阪大学	齋藤 彰
110	金属・プラスチック異材接合に向けた幅広大気圧非平衡高周波プラズマジェット生成技術の開発	大阪大学	竹中 弘祐
111	二酸化炭素排出量削減に貢献する低温実装材料の開発	大阪大学	西川 宏
112	浮き輪型酸素透過性バッグを用いた間葉系幹細胞のスケラブル浮遊培養系の構築	大阪大学	堀口 一樹
113	大気圧プラズマグラフト重合処理による環境適合型ゴムフッ素樹脂複合ホースの創製	大阪公立大学	黒木 智之
114	超音波浮揚技術を利用した新規元素分析法の可能性検証	大阪公立大学	辻 幸一
115	内因性ケトン体を上昇させる食品成分の新規スクリーニング法の確立と認知症予防への応用	大阪公立大学	湯浅 明子 (小島 明子)
116	カンジダ菌を抑制する天然脂質およびペプチドの日用品への応用の可能性の検証	大阪産業技術研究所	永尾 寿浩
117	磁場駆動MCP-OLEDおよびMCP-LECデバイスの開発	近畿大学	今井 喜胤
118	低アレルギー化イチゴの開発	神戸大学	宇野 雄一
119	紫外光応答性経皮リポソームの開発	奈良工業高等専門学校	宇田 亮子
120	陽電子断層撮影に用いる励起子発光シンチレーターの開発	奈良先端科学技術大学院大学	河口 範明

	研究開発課題名	研究機関名	氏名
121	安定な遠隔モニタリングを目指した近赤外発光シンチレータの開発	奈良先端科学技術大学院大学	中内 大介
122	無細胞翻訳系の高効率化を目的とした配列最適化システムの開発	奈良先端科学技術大学院大学	山崎 将太郎
123	生薬抽出液を利用した菌根菌資材の接種効果を安定的に高める技術開発	鳥取大学	上中 弘典
124	天然由来ナノファイバーと樹脂の複合化方法の開発及び複合材料の射出成形	鳥取県産業技術センター	村田 拓哉
125	果実への複合的直感を反映するAI選果システムの開発	岡山大学	赤木 剛士
126	地盤の透水性低下を目的とした岡山県産カオリンクレーを用いた注入工法の開発	岡山大学	小松 満
127	配向制御された酸化グラフェンによる電気化学デバイスの開発	岡山大学	古茂田 将人
128	環境に優しい高体積容量アルミニウム多価イオン電池の3次元多孔質炭素電極と耐腐食性セパレータの開発	岡山大学	林 靖彦
129	一軸配向性多孔質コラーゲンスポンジを用いた軟部組織再生技術の開発	岡山大学	福岡 史朗
130	化石燃料を使わないCO ₂ 施用技術の開発	広島大学	藤川 愉吉
131	「単分子誘電体」による多値メモリの開発	広島大学	藤林 将
132	グリーンインフラ向けモニター電源に用いる植物を利用した微生物燃料電池の開発	山口大学	アジズル モクスド
133	地中熱利用システムに抵抗低減効果を複合させた省エネルギー空調の実用化	山口大学	佐伯 隆
134	環状特殊カルボン酸誘導体合成反応の開発とその農薬としての新規作用性試験	山口大学	西形 孝司
135	木造住宅リフォーム前に実施するインスペクションの調査範囲拡大・精度均質化を目的とした複合的調査機能搭載型天井裏探査ロボットの開発	阿南工業高等専門学校	多田 豊
136	リゾリン脂質デリバリーシステムの開発	徳島大学	山本 圭
137	CBCT画像からの正確かつ迅速な顎骨のオートセグメンテーション手法の開発	徳島大学	渡邊 佳一郎
138	光無線トランシーバにおける環境・伝送容量適応的な変復調方式の研究開発	香川大学	小玉 崇宏
139	可溶性ポリアクリルアミドゲルを活用したトップダウン質量分析のためのサンプル前処理法の開発	愛媛大学	武森 信暁
140	枯渇資源に依存しない二次電池の開発を指向した高性能有機正極活物質の開発	愛媛大学	吉村 彩



	研究開発課題名	研究機関名	氏名
141	遠隔生育モニタリングによる密閉環境下の植物成長促進装置の検討	愛媛大学	和田 博史
142	エクソソーム内miRNAに基づく機能予測データベースの構築による新規食品機能予測システムの開発	九州大学	片倉 喜範
143	非天然型 α 、 α -2置換アミノ酸含有ペプチドのde novoワンポット合成技術の開発	九州大学	友原 啓介
144	カイコによるセリン合成法の創製	九州大学	山本 幸治
145	バイオ殺虫剤の耐熱性向上技術の開発	九州工業大学	池野 慎也
146	低炭素化と高耐久を実現する建設用3Dプリンタ材料の開発	福岡大学	山田 悠二
147	都市鉱山を有効に活用するための2級アミド化合物による有害元素の選択的除去	佐賀大学	大渡 啓介
148	微生物活性を含めた多項目計測データのAI学習によるMBR処理機能予測技術の開発	長崎大学	板山 朋聡
149	海産魚由来培養細胞樹立方法の確立	長崎大学	上野 幹憲
150	仔魚飼育のための生きエサパッケージの開発	長崎大学	萩原 篤志
151	画像からの極微小変化の特徴解析による製品個体識別技術の開発	熊本大学	上瀧 剛
152	ポリマー粒子をフィラーとする透過型スクリーンの高解像度化・高輝度化	熊本大学	高藤 誠
153	超音波伝送を用いて視覚障害者に音声で危険情報を知らせる装置の開発	熊本大学	西村 方孝
154	無菌養蚕により産生された山鹿シルクからのフィブロイン球状粒子の構築と細胞培養マイクロキャリアへの展開	熊本県産業技術センター	永岡 昭二
155	遠隔指導のできるVirtual Reality (VR)を用いた理学療法実習教育システムの開発	大分大学	河上 敬介
156	病原体遺伝子と宿主の体質遺伝子を同時に検出するワンチューブ検査法の開発	宮崎大学	関口 敏
157	大規模・複雑構造を有する5G通信機器設計に向けた高性能電磁界解析手法の確立	宮崎大学	武居 周
158	枯草菌死菌体を用いた免疫賦活効果の評価と家畜生産への応用	宮崎大学	保田 昌宏
159	介護勤務シフト生成に必要な制約条件の自動設計技術	鹿児島大学	小野 智司
160	廃ガラスをケイ酸源とする稲作における収量増加機構の解明と社会実装の試み	沖縄工業高等専門学校	三宮 一幸

A-STEP プログラム概要

1. プログラムの概要

A-STEP (Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-Driven R&D) は、大学・公的研究機関など（以下、「大学等」^{注)}）で生まれた科学技術に関する研究開発成果を国民経済上重要な技術として実用化することで、研究成果の社会還元を目指す技術移転支援プログラムです。

A-STEPでは、大学等の研究成果の技術移転に伴う技術リスクを顕在化し、それを解消することで企業による製品化に向けた開発が可能となる段階まで支援します。研究開発の状況に応じて、リスクの解消に適した複数のメニュー（サブプログラム）を設けています。

	トライアウト	産学共同		実装支援 (返済型)
		育成型	本格型	
主な プレイヤー	大学等の研究者 	大学等の研究者 	企業と 大学等の研究者 	ベンチャー企業等 
資金の 種類	グラント	グラント	マッチングファンド	返済型

A-STEPのプログラム構成

注) 大学等

国公立大学、高等専門学校、公的研究開発機関、公益財団法人、公益社団法人、および旧制公益法人から移行した一般財団法人または一般社団法人（非営利型法人で事業として研究を実施する法人）を指す。

2. A-STEP支援メニュー一覧

支援メニュー	トライアウト	産学共同		実装支援 (返済型)
		育成型	本格型	
目的・狙い	大学等のシーズが企業ニーズの達成に資するか、可能性を検証する。	大学等の基礎研究成果を企業との共同研究につなげるまで磨き上げ、共同研究体制の構築を目指す。	大学等の技術シーズの可能性検証、実用性検証を産学共同で行い、実用化に向けて中核技術の構築を目指す。	大学等の研究成果・技術シーズに基づく企業主体による実用化開発を行う。
課題提案者	大学等の研究者	大学等の研究者	企業と大学等の研究者	ベンチャー企業等
対象分野	特定の分野を指定せずに幅広く募集。ただし医療分野は対象外。			
研究開発期間	最長2年度	最長3年度	最長6年度	最長3年間
研究開発費※	上限300万円 (総額)	上限1,500万円(年額) 初年度は上限750万円	上限1億円(年額) 初年度は上限5,000万円	上限1~5億円 (総額)
資金の種類	グラント	グラント	マッチングファンド	返済型 事後評価がS、A、B評価の場合：開発費全額を返済 事後評価がC評価の場合：開発費の10%を返済

※研究開発費は間接経費を含みます。

3. A-STEPトライアウトとは

大学等の研究成果に基づいた、開発ニーズを持つ企業などが着目する技術の実現可能性を検証するための試験研究を実施します。社会的・経済的なインパクトにつながると期待されるイノベーションの創出に向け、本格的な産学共同研究開発を実施するための基礎となる研究成果に基づく技術シーズの形成を目指します。

4. 支援の概要

4-1. 研究開発支援

大学等の研究成果に基づいた、開発ニーズを持つ企業などが着目する技術の実現可能性を検証するための研究開発費の支援に加えて、マッチングプランナーによる研究開発活動の支援を実施します。研究開発支援対象期間は契約締結日から最長で令和5年3月末までです。

4-2. 成果展開

研究開発期間終了後も、本支援による研究成果については、マッチングプランナーが、研究開発の進展に資する新たな企業、研究者などとのマッチング、支援制度の紹介や活用支援、成果の広報支援などを行います。

5. マッチングプランナーとは

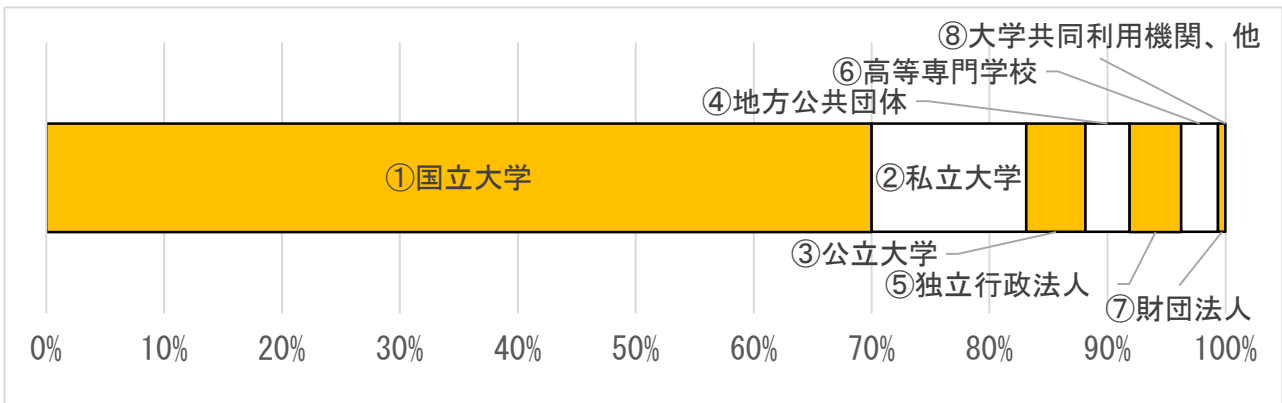
本プログラムでは、地域の産業の特徴、集積、交通の利便性などを踏まえて全国を5つの地域ブロック（東北・北海道、広域関東圏、近畿・中部、中国・四国、九州・沖縄）に分割し、それぞれにマッチングプランナーを配置します。

マッチングプランナーは、各地の産学連携の担い手である研究機関や企業、自治体、金融機関などと連携し、技術移転の可能性が見込まれるテーマを発掘し、研究開発の方向性などについて相談、助言などを行い、さまざまな支援メニューの活用や最適な協力者とのマッチングを通じて、研究開発の加速を促します。

A-STEP トライアウト 令和4年度募集
採択課題の参考データ

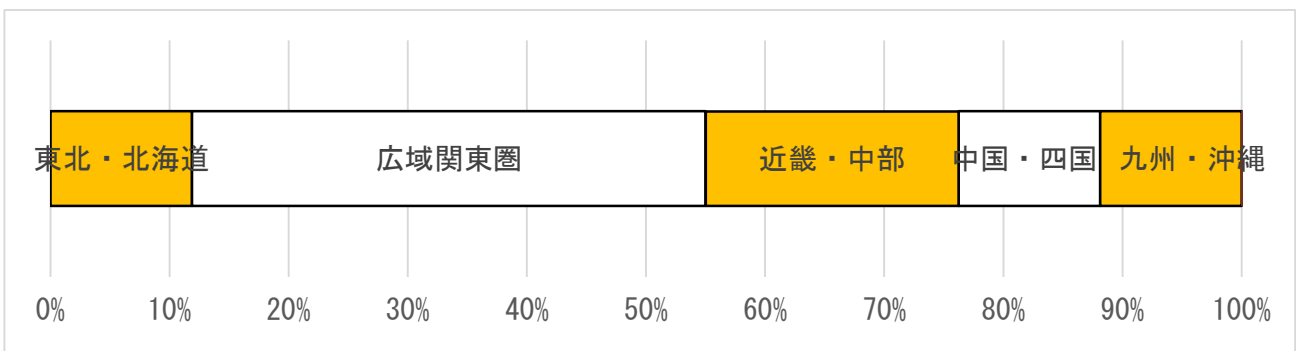
■新規課題のシーズ元機関別割合

	採択数	比率
① 国立大学	112	70.0%
② 私立大学	21	13.1%
③ 公立大学	8	5.0%
④ 地方公共団体	6	3.8%
⑤ 独立行政法人	7	4.4%
⑥ 高等専門学校	5	3.1%
⑦ 財団法人	1	0.6%
⑧ 大学共同利用機関法人、その他	0	0.0%



■新規課題のシーズ元機関の地域別割合

	採択数	比率
東北・北海道 (北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)	19	11.9%
広域関東圏 (茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 ・新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・静岡県)	69	43.1%
近畿・中部 (岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)	34	21.3%
中国・四国 (鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)	19	11.9%
九州・沖縄 (福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)	19	11.9%



※小数第2位以下を四捨五入している関係上、比率の合計が100%にならない場合があります。

A-STEP トライアウト
評価・推進会議委員一覧

氏名	所属機関・役職
飯田 香緒里	東京医科歯科大学 統合イノベーション推進機構 副機構長 教授・産学連携研究センター長
伊藤 弘昌	理化学研究所 光量子工学研究センター 客員主管研究員 東北大学 名誉教授
城野 理佳子	北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学協働マネージャー
佐藤 久子	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授
豊玉 英樹	JST 開発主監(プログラムディレクター)
仲井 朝美	岐阜大学 工学部機械工学科 教授
林 勇二郎	公立小松大学 顧問 金沢大学 名誉教授
平原 彰子	鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター 特任研究員
松浦 栄次	岡山大学 中性子医療研究センター 教授 大学院医歯薬学総合研究科 (産学官連携センター) 教授
村井 眞二	奈良先端科学技術大学院大学 特任教授 岩谷産業株式会社 取締役 (非常勤)
山田 淳	九州先端科学技術研究所 (I S I T) 研究所長

令和4年9月1日現在
(敬称略、五十音順)